

ホーム名:グループホームさくら北畠(2階)					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人としての理念をわかりやすい文章で作りなおし、各階の玄関に掲げている。また「入居者様もスタッフも、感情豊かにその人らしく」をホームの理念に掲げている。	法人理念だけでなく、ホーム独自の理念を各階の玄関に掲げており、職員や入居者が「感情豊かにその人らしく」過ごせるよう話し合い、共有し、実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	社協や包括、地域福祉コーディネーターより、地域内の様々な情報を提供して頂いている。また、地域の保育園や高齢者部会との交流を定期的に行っている。また、地域の防災訓練にも関わっている。	コロナ前は、地域の祭りやイベント、保育園や中学校との交流に参加していた。区内で積極的に情報共有しているだけでなく、物品や人材の福祉資源も共有し、地域全体で福祉を支える取り組みを行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方からの介護の相談及び認知症の介護方法・施設選択の助言を希望者に行う。また、地域の中学校の福祉教育への参加依頼を受ける事もあり、協力している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回の運営推進会議の際、現サービスの実績について話し合い、第三者からの助言により更なるサービスの向上に努めている。	運営推進会議は地域の代表として地域福祉コーディネーターや、地域包括支援センター職員等が参加して2か月毎に開催している。現在はオンライン開催となっているが、アドバイスや地域の情報を得られる有意義な場になっている。議事録も適正に整備され、職員間で共有されている。	他のグループホームの運営推進会議に参加したり、招いたりしてはどうか。他施設と連携することも有意義であると思われる。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組を積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	市町村の担当者との連携や協力体制を望んではいませんがまだ整備されていない。	市担当者とは、事故報告や制度等について訪問したり電話で相談している。区内の施設部会にも積極的に参加し、職員間で情報を共有している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	身体拘束について定期的な勉強会の機会を設けている。また、申し送り時やケアカンファレンスの際にケアについて職員内で話し合い等を行なっている。毎月1回施設内カンファレンスを行い情報共有行い検討している。	研修や勉強会を定期的実施し、権利擁護への学びを深め、適切に実践している。身体拘束委員会も毎月積極的に実施され、議事録も整えられている。	1ヶ月に1度の身体拘束委員会のうち、運営推進会議と重なる月の委員会は、運営推進会議と一緒に開催し、包括職員等から助言をもらってはどうか。会議にもメリハリがつき、職員の意識づけにもなるとと思われる。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止について定期的な勉強会の機会を設けている。身体状態(入浴時等)の観察を行い早期に皮下出血等の発見をし、事故報告書を作成し報告している。		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>虐待や身体拘束を含み、外部より資料を収集し学ぶ機会を持ち、資料が閲覧できるようにしている。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分な話し合いを実施し、契約後も不安、疑問点には迅速に対応するよう心掛けている。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見等を記入して頂ける意見箱を設置している。意見等があれば速やかに検討する。運営者への報告も随時行っている。また年1回家族様にアンケートを行っている。</p>	<p>コロナ禍でも限定的ではあるが、面会を許可している。家族と話す機会を積極的に設け、要望や意見を積極的に取り入れてケアに反映させるよう心掛けている。家族アンケートの評価も高い。</p>	
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>職員用意見箱をタイムレコーダー付近に設置し定期的に意見用紙を回収している。定例会議の際、意見交換を実施している。毎月1回定例会議行い各階の問題について話し合っている。</p>	<p>日々の業務の中で、お互いに意見が言い合える風通しの良い関係が構築されている。業務の効率化を図りつつサービスが低下しないようお互いが確認し、意見を出し合っている。管理者と職員の面談も年4回行っている。</p>	
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>個々の能力に合わせた、業務内容の変更を実施。職員からの提案があれば検討し、できる限り取り入れるようにしている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の勉強会に職員が積極的に参加できるよう、学習内容も検討し決めることにより向上意欲や研究心も高まり進んで学習する機会を提供している。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>阿倍野区社協の施設連絡会に加入している。連絡会の中の高齢者部会にも参加して情報交換をしている。また不定期に開催される勉強会や交流会への参加も促している。</p>		

## Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前の面接や入居日などに生活歴、要望等お聞きし安心して入居できるようにしている。入居されてからも不安そうにされていないか出来るだけ話ができるような時間を作るようにしている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用にいたるまでに、家族様と面接や電話にて連絡をとり日々変化する要望等を聞き信頼関係が図れるよう努めている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けた際まず、現在の状態や支援内容を把握し必要に応じて様々な介護サービスの説明を行っている。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は入居者様を人生の先輩として尊敬し、様々なことを学びながら日々の暮らし・食事・レクリエーションを共に楽しむように心掛けている。また、人生の先輩として、職員が相談したりする事もある。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>日頃からご家族様との連絡を密にとり家族アンケートでも意見募り利用者様を支えていける関係を築いている。</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族様だけではなく、親族や友人から手紙やはがきが届く方もおられる。</p>	<p>地域に密着した事業所として、利用者の友人や知人等、気軽に立ち寄れる環境づくりを心掛けている。 コロナ禍でも細心の注意を払って面会や外出を許可したり、オンライン面談を実施したりと、関係継続を支援している。</p>	
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>職員が利用者様同士コミュニケーションを図れるよう、常に間に入り関わり合えるよう努めている。利用者様同士で会話が盛り上がっている時は、あえて入らずに見守りをする事もある。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>介護サービス等についての相談・助言を必要に応じて、提供できるよう努めている。</p>		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	各職員が日々の関わりの中から希望や意向の汲み取りができるよう工夫し、本人本位に近づけるよう検討している。	夜間や入浴時など、ゆっくり過ごす中での会話や表情、しぐさなどを記録に残したり、行事やイベントを介して思いの把握に繋げたりしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	入居前のアセスメントから様々な情報を把握し、入居後も本人あるいは家族様より情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りや入居者様の気づきシート、日々のケース記録を活用し総合的な把握ができるよう努めている。スタッフ同士でも気付いた事を常に話し合える環境である。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画を作成する際、家族様と面談を行ったり普段から意向の確認をし、本人様の状態だけではなく、主治医や関係機関の意見を参考に作成するようにしている。	職員が利用者や家族から知り得た情報は、計画作成担当者とも情報共有を図り、ケアプランに反映させるよう努めている。定期的にケアプランを見直す際には、再アセスメントを行い、家族の意見や医師の意見を反映させるように努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のご様子をケース記録に詳細に記録するよう心がけ、気づいたこと等を入力し情報を共有できるよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	様々な制度のご案内、本人や家族の状況を把握し柔軟に対応支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者の残された能力や希望や思いの把握をしっかり確認した上で見守りながら支援するよう努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週1回、看護師による訪問があり、状態を伝え相談することにより医療面での対応も図れるよう支援している。	入居の際にかかりつけ医について家族と相談し、希望に沿った受診ができるよう支援している。月2回訪問診療の医師による往診があり、緊急時等24時間対応可能で、看護師が週に一度訪問して健康管理にあたっている。	

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>協力の医療機関と連携を密に図り、情報交換や相談するように努めている。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>協力の医療機関と連携を密に図り、情報交換や相談するように努めている。</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>事業所の「できること・できないこと」を検討し医療関係者と共にチームで支援を行えるよう取り組んでいる。看取りについてもご家族様や医療関係者との密な話し合いのもと取り組んでいる。</p>	<p>入居時に「重度化した場合における看取り指針」を示し同意を得ている。重度化した際は医師から家族に伝え、希望により職員も交えて最善の方法を検討している。医師や看護師の協力のもと、職員は看取り研修やカンファレンスを行いながらスキルアップに努めている。</p>	
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>勉強会において、応急手当等学習する機会を作っている。また、参加できないスタッフには書面での閲覧を周知している。感染対策委員会主導により、感染想定訓練を行っている。</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回消防避難訓練を実施している。内1回は地域の消防署立ち会いのもと通報訓練も行っている。また、地域の防災訓練にも関わっている。</p>	<p>年に2回消防署立ち会いのもと、昼夜の火災を想定した避難訓練を利用者と一緒に行っており、通報や初期消火についても指導を受けている。災害に備えて水や食料を1週間分は備蓄している。</p>	

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>職員は、入居者様の人格を尊重し、プライバシーの面にも配慮し、入居者様に対しての言葉使いや対応等が適切であるか、職員間でお互いを指摘し、確認を行っている。</p>	<p>定期的に法人やホーム内で接遇マナーやプライバシー、認知症に関する研修を行っている。</p> <p>利用者への言葉かけは、人生の先輩として敬い馴れ馴れしくならないよう努めている。</p> <p>入浴時等、希望があれば同性介助にも配慮している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>各場面で、出来る限り本人様に自己決定できるよう日々コミュニケーションを図っている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者様の状態やペースに合わせて、ゆっくりとした支援を心掛けている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>身だしなみについては、洋服は本人様が選択できるよう援助したり、ご家族様と相談のもと化粧品等を居室にて使用されています。また、定期的に、理容・美容の訪問を提供しています。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事メニューを毎日朝に、発表し事前に伝えることにより楽しみにされる方が増えている。また、食事準備、食後の洗い物等は、各入居者様が出来る事を考え職員と一緒にして頂けるよう声かけをしている。</p>	<p>食材業者より届いた食材を調理し、温かいものは温かく提供している。</p> <p>利用者は職員と一緒に下ごしらえや食器洗いを行い、会話を楽しみながら一緒に食事をしている。</p> <p>イベント時には利用者の好物をイベント食として提供するなど、食生活を楽しんでもらっている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>食事量を毎食チェックし、水分補給を促し医師へ状態を定期的に報告している。その方の状態に合わせて食事形態を変更したり、食事や水分が進みにくい方には好みの物を提供したり、食事時間にこだわらずご本人が摂取しやすい状況の時</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後口腔ケアを実施し、必要な方には定期的に歯科医の口腔ケアや往診により口腔内を清潔に保つようにしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>各個人の排泄パターンを知り、状態に合わせて排泄用具の検討をし対応している。必要に応じ定時のトイレ誘導を行っている。</p>	<p>各居室にトイレがあり、日々の記録からパターンを把握して個別に誘導し、排泄支援をしている。</p> <p>職員は利用者の個々の状態に配慮しながら自立に向けた支援をしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便の有無を毎日確認し、水分量や服薬あるいは排便を誘発できるような食物をおやつ等で工夫している。</p>		

45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴はお一人ずつ行い、希望によって入浴日以外の日にも入って頂いたり、時間帯を変更したりしている。身体機能に合わせて配慮し、個々の能力にそった支援を行っている。</p>	<p>週に3回入浴できるよう調整している。希望があれば回数を増やしたり、拒否が見られる利用者には時間をかけて慣れてもらい、声掛けに工夫して気持ちよく入浴できるよう支援している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>状態に合わせて、日中でも休息できる時間をもうけ夜間も安心して眠ることができるよう努めている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>各個人のファイルに薬情をファイルにして保管し用法等を確認出来るように努めている。服薬事故防止の為、職員同士で服薬介助時に間違いがないか確認している。また、服薬内容やご本人の状況に応じて服薬前にバイタルチェックをしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>家事活動などその方のできることを見極め、できることはしていただくようにしている。職員は見守りしながら入居者様と一緒に、暮らしの中で役割作りなどを支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>通院は感染対策を行いご家族様と密に連携を取り、安心して外出できるよう支援している。</p>	<p>広い屋上やベランダを利用して、コロナ禍でも外気に触れる機会を大切に、利用者が外の刺激や季節を感じられるよう支援をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居者様の状態によっては財布や小銭をご本人に持って頂いている。定期的に家族様よりお小遣いを預かり、お小遣い帳にて管理を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族様や知人の方からの電話や手紙がある方もおられる。手紙やはがきを書かれる方もいる。ご自分の携帯電話を持っておられ家族様とお話される方もおられる。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>行事を行った写真や季節に合った壁面を利用した作品を掲示している。また、室温等が適切であるか、過ごしやすいか、入居者様それぞれに合わせてお声掛けをし、確認している。</p>	<p>リビングや廊下に外出やイベント時の写真や、季節の飾りを掲示し、季節を感じたり思い出を見れるようにしている。温湿度計や空調を用い、利用者にも聞きながら体感に合わせた環境整備に努めている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>各居室前やコーナーには、くつろぐことのできる空間(ベンチ)を設置している。また、食事以外には、食堂の座席位置を固定せず、気の合った入居者様同士でお話して頂きやすい、お好きな場所で過ごせるよう支援している。</p>		

54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様を使い慣れた家具や思い出の写真を置き、落ち着いて過ごせる空間を家族様と入居時や入居後に検討し工夫している。</p>	<p>利用者や家族の希望に合わせて、自宅の間取りに合わせて、自宅で使用していた馴染みの物等を持ち込んでもらったりして、家庭的な第2の住まいとして意識いただけるように支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各居室の玄関には、表札があり居室がわかるよう工夫している。表札が小さくて見えにくい方については、別の紙に大きく書いて貼ったり工夫している。</p>		



V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目: 28)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができて (参考項目: 9,10,19)	○	①ほぼ全ての利用者として ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている (参考項目: 9,10,19)	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は活き活きと働いている (参考項目: 11,12)	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない